

今すぐ聞きたい知りたい!

実践ロボット Slerの勘所

自動化・ロボット化の需要の高まりを背景に、産業用ロボットに関連するSlerの人材が不足しています。地域企業を中心に、産業用ロボットにおけるSlerの動向、ロボットシステム導入のための基本ステップ、導入時の課題克服方法・解決策や安全対策の進め方など、ロボットSler*としての勘所を実践的に学ぶためのSler育成講座を開催します。

日程

2019年11月22日(金)・25日(月) 10:00～17:00

1日目「産業用ロボット導入ステップと導入の勘所」

2日目「リスクアセスメントの概要と演習」

会場

浜松商工会議所会館8階 セミナー室

全2回

[対象]

- ・産業用ロボット業界にSlerとして参入を目指す企業の担当者
- ・ロボットシステムの導入を検討している企業の担当者
- ・ロボット教示の特別教育の修了証をお持ちの方
- ・ロボットSler企業の若手・中堅社員

[定員]

20名

※先着順
※ただし応募者多数の場合は参加人数を調整させていただく場合がございます。

[参加費]

4,000円(税込)

※浜松市外の企業は
8,000円(税込)

*ロボットSler(エスアイヤー) / ロボットシステムインテグレータの略、ロボットを用いてシステムの構築を担うもの

詳しいスケジュールは裏面へ▶

主催

後援

1日目 「産業用ロボットシステム導入ステップと導入の勘所」

11月22日(金) 10:00~17:00

(10:00~14:00)

[講師] ㈱日本設計工業 社長付特命部長 栗原 弘明 氏

[内容] ・ロボット産業における Sler の動向

・基本的な導入ステップの進め方

産業用ロボットの導入イメージ、導入目的の明確化、対象ワーク、作業の選定、制約条件、導入レイアウト図の作成、費用算出、社内体制・運用の検討、提案依頼書(RFP)の作成、産業用ロボットの提案、企画構想、仕様の決定、設計・製作、テスト・運用ほか

(14:00 ~ 15:00)

[講師] ㈱ティーエス 代表取締役 松原 伸幸 氏

[内容] ロボット導入事例①(中小企業・サプライヤー事例、導入時の課題克服方法・解決策等)

(15:10 ~ 16:10)

[講師] スターテクノ㈱ 常務取締役 瀬川 裕史 氏

[内容] ロボット導入事例②(大手自動車メーカー事例、導入時の課題克服方法・解決策等)

(16:10 ~ 17:00)

名刺交換会・情報交換会

[講師紹介]

㈱日本設計工業 社長付特命部長 栗原 弘明 氏



静岡県沼津市出身。日本たばこ産業㈱入社後、ジェイティエンジニアリング㈱(株)に出向し、たばこ・食品・半導体業界等のライン設計・エンジニアリングに取り組む。2012年に㈱日本設計工業に入社。企画開発部門を担当後、マテハンシステムメーカーとしてのロボットSler関連技術の獲得・推進を多分野にわたり展開中。Slerの認知・地位向上を目指す。

㈱ティーエス 代表取締役 松原 伸幸 氏

高校卒業後、浜松米穀株式会社へ入社。そこでエンジニアリング会社に興味を持つ。1992年に会社設立。主な業務として営業技術を担当し、現場優先の仕事で業務拡大に成功する。2018年にFA・ロボットシステムインテグレーション協会の初代メンバーとして入会。米屋からエンジニアリングと異色の経歴を持つ。今では年間60台以上のロボットを立ち上げる会社に成長させている。

スターテクノ㈱ 常務取締役 瀬川 裕史 氏

岐阜県郡上市生まれ。愛知県の射出成型機専用ロボットメーカーである㈱スター精機に入社。国内外の営業担当を経験後、台湾工場に駐在。帰国後の2000年、新設のスターテクノ㈱(株)に転籍。新規事業である Sler 事業の立ち上げに取り組み、大手自動車メーカー向けにロボットシステム新規開発企画を担当。現在は、スターテクノ㈱(株)の経営に従事する。

2日目 「リスクアセスメントの概要と演習」

11月25日(月) 10:00~17:00

[内容] ・国内法令と国際規格と機械安全の基礎

・産業用ロボットの安全性要求事項

- ①ロボットシステムの概要 ②関連規格 (ISO)
- ③安全機能 ④システム構築の流れ

・ロボットシステムのリスクアセスメント演習

・協調安全 Safety2.0 とロボットシステム

[講師紹介]

IDEC ファクトリーソリューションズ㈱

セーフティ推進室 セーフティエバンジェリスト 岡田 和也 氏



和歌山県出身。IDEC (株)入社後、現職兼務。FA 分野の安全機器・安全システム開発の経験や、国際安全規格関連の知識を活かし、安全技術エキスパートとして活動。安全システム構築支援、安全性評価、CE マーク対応に関する安全コンサルティング、企業・団体向けのグローバルに通用する安全技術セミナーを実施。緑十字賞、国際標準化貢献者表彰など受賞歴多数

申込方法

参加希望の方は下記必要事項をご記入いただき、11月11日(月)までに

[FAX ☎ 053-450-2100] または [E-mail ✉ gijyutsu@hai.or.jp] まで申してください。

尚、参加費については当財団より請求させていただきますので、11月21日(木)までに指定口座へお振込みをお願いします。

お問合せ

公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構 技術支援グループ/坪井・室内

TEL 053-489-8111 E-MAIL gijyutsu@hai.or.jp FAX: 053-450-2100

[今すぐ聞きたい知りたい! 実践ロボットSlerの勘所 申込書]

会社	会社名			
	所在地	〒		
		※産業用ロボットを自社に導入済ですか?	はい <input type="checkbox"/> /いいえ <input type="checkbox"/>	
		※浜松市内に本社、製造拠点の主たる事業所がある。	ある <input type="checkbox"/> /ない <input type="checkbox"/> ※必ずチェックしてください。	
	電話		F A X	
参加者	氏名	所属/役職		
	E-mail			